

藤沢市立鵜沼中学校改築事業 基本設計検討状況 中間説明会の結果について

1月14日（日）に鵜沼中学校武道場におきまして、鵜沼中学校改築事業基本設計検討状況についての中間説明会を開催いたしました。

1. 学校施設再整備事業の概要についての説明

・再整備事業の概要として、市立学校施設の現在の状況、建物ごとの整備手法案、劣化状況調査による整備手法の見直し、事業スケジュール予定について、ご説明いたしました。

【整備手法の見直し】

建物	実施計画における整備手法	→	変更案
北校舎	改築（建替え）	→	変更なし
南校舎	長寿命化改修（既存改修）	→	改築（建替え）
屋内運動場	中規模改修（既存改修）	→	中規模改修（劣化部補修を含む） （既存改修）

【事業スケジュール予定】

・令和6年度末の予定で実施設計を行った後、予算の議決を受けた上で、**4～5年の工事期間**を予定。

※校舎棟の建替えや屋内運動場・武道場の改修など、工事施工の順序によって、工事工程に大きく変更が生じます。

2. 改築事業の基本コンセプトについて

【配置計画に対する検討の視点】

・施設が抱える現状の課題や環境条件等を踏まえ、改築事業の配置計画に関する基本方針について、比較検討の視点（ポイント）を次のように掲げています。

- ① 工事期間中の学校運営や避難について
- ② 建設終了後の生活・グラウンド環境や周囲への影響
- ③ 全体整備コスト
- ④ 全体工程

【基本コンセプト】

- ① 学びの中心となる**メディアセンター**を校舎棟の中央に設け、多機能な機器や学習空間・場が得られる学びの場とする。
- ② 普通教室は **ICT 活用**と多様な学習形態に対応する学習環境を創る。
- ③ 学校全体が**学習・交流の場**となる**スクール commons**を目指す。
- ④ 生徒と教職員に**多様なコミュニケーション**が生まれるよう、オープンスタイルの校務センターを設ける。
- ⑤ 環境との**調和・自然エネルギー**の積極的活用を図る。
- ⑥ 地域との**交流の拠点**として、誰もが使いやすい施設とする。
- ⑦ **安心・安全**、将来にわたり**維持管理**がしやすい施設とする。

・今後配置方針の決定を受け、基本設計の際には改築事業の基本コンセプトを基に、さらに詳細な検討を進めます。

3. 配置の比較検討（素案）について

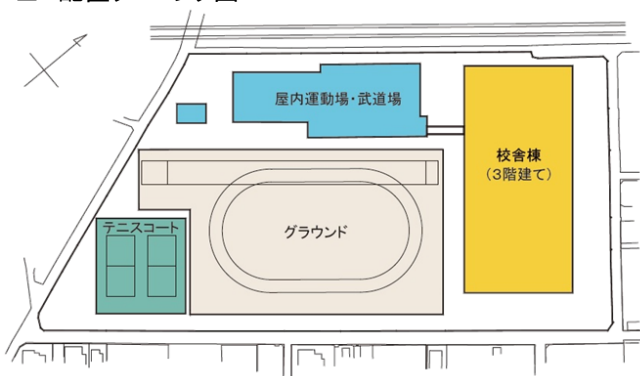
・学校敷地全体を再整備する方針により校舎棟の配置案として、大きく3つの基本パターンが考えられ、それぞれのメリットやデメリットを比較評価し、施設配置を検討しました。

A案 — 校舎棟を現在の位置、北側に建替える案 —

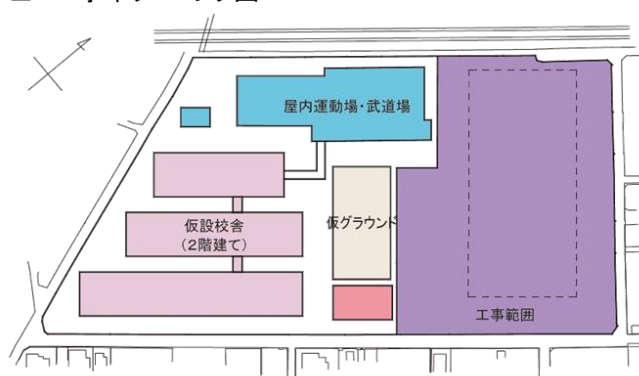
■ 配置上の特徴

- ・北側住宅地への日影などを配慮し3階建てとする
- ・現状位置での改築で近隣等周辺環境の変化が小さい

■ 配置ゾーニング図



■ 工事中ゾーニング図



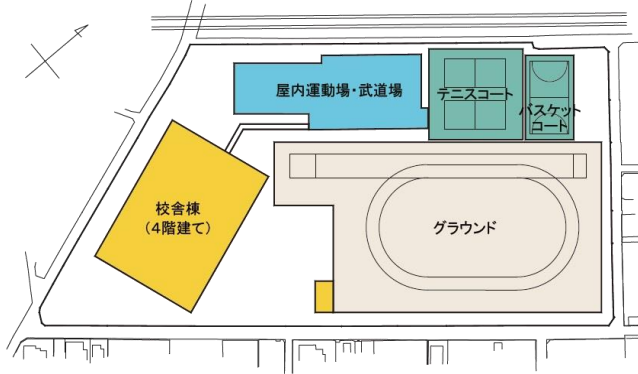
	工事期間中		事業完了後				整備コスト	全体工期
	仮設校舎	仮グラウンド 避難場所	生活環境	グラウンド環境	周辺への影響	日影の影響		
A案	△ ・仮設校舎の建設が必要で3年以上使用する。 ・2階建てとなり、広いスペースを要する。	△ ・仮設校舎と新校舎間に設けるため、広いスペースが確保できない。	△ ・普通教室の一部が北側になり、南からの採光が確保できない。	△ ・面積は現状程度でそのまま使用できる。 ・新校舎の日影の影響がほとんどない。	○ ・グラウンドと校舎が現状とほぼ同じ位置のため、環境への影響が少ない。	△ ・北側住宅地へ新たに日影の影響が生じる範囲がある。	△ ・仮設校舎の建設が必要となり、全体の整備コストが割高になる。	△ ・仮設校舎の建設が必要となり、全体工期が長くなる。 ・新校舎の供用開始が一番遅くなる。

B案 — 校舎棟を既存のグラウンドエリアの南側に建替える案 —

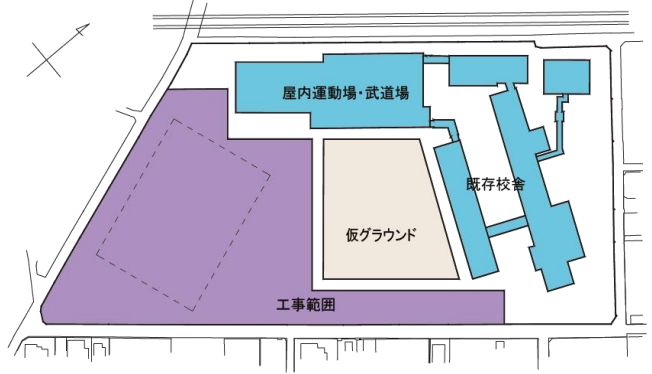
■ 配置上の特徴

- ・管理諸室から生徒の登下校及びグラウンド活動を目視できるため、防犯・安全性が高い
- ・グラウンドの面積が現在よりも広く確保できる

■ 配置ゾーニング図



■ 工事中ゾーニング図



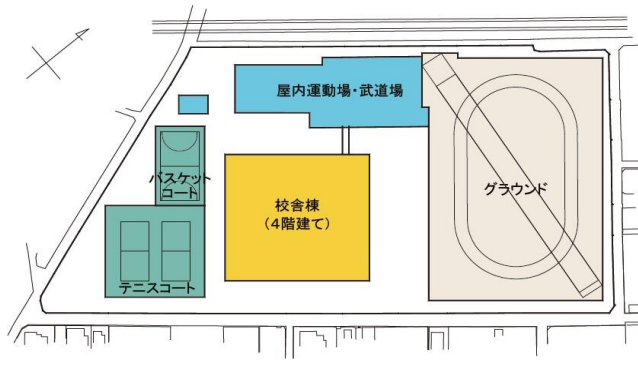
	工事期間中		事業完了後				整備コスト	全体工期
	仮設校舎	仮グラウンド 避難場所	生活環境	グラウンド環境	周辺への影響	日影の影響		
B案	○ ・仮設校舎を設けない計画案。	◎ ・A案と比較して約2倍程度確保でき、使用期間も短い。	○ ・普通教室が全て南西側になり、採光などの環境が良い。	◎ ・面積が一番広く確保できる。 ・新校舎の日影の影響がほとんどない。	△ ・グラウンドと校舎の配置が入れ替わるため視線や音など環境の変化が生じる。	○ ・新校舎からの日影の影響はほぼない。	○ ・A案と比較して約9割程度のコストとなる。	○ ・仮設校舎を設けないためA案と比較し、約1年の工期短縮となる。

C案 — 校舎棟を既存のグラウンドエリアの中央に建替える案 —

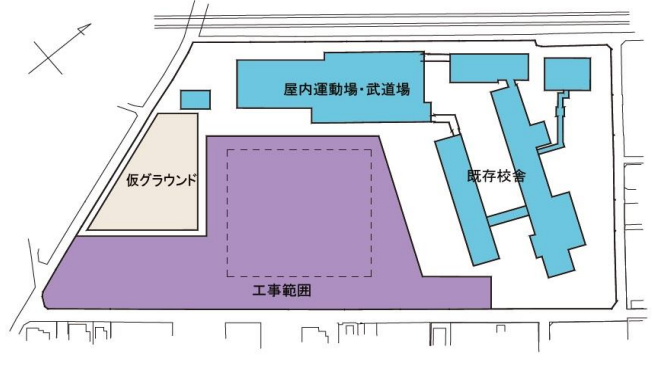
■ 配置上の特徴

- ・近隣との距離を確保した配置で、日影・視線等の影響が少ない
- ・校舎棟が中央にあり、グラウンドとサブグラウンドは離れた配置となる

■ 配置ゾーニング図



■ 工事中ゾーニング図



	工事期間中		事業完了後				整備コスト	全体工期
	仮設校舎	仮グラウンド 避難場所	生活環境	グラウンド環境	周辺への影響	日影の影響		
C案	○ ・仮設校舎を設けない計画案。	△ ・現校舎棟から離れるため管理に課題がある。 ・整備費用が必要となる。	○ ・普通教室が全て南東及び南西側になり採光などの環境が良い。	○ ・面積はA案よりも広く確保できる。 ・新校舎の日影の影響が多少ある。	△ ・敷地の中央に校舎が配置されるため環境の変化が小さい。	○ ・新校舎からの日影の影響はほぼない。	○ ・A案と比較して約9割程度のコストとなる。	○ ・仮設校舎を設けないためA案と比較し、約1年の工期短縮となる。

4. 意見・質問及び回答について

・説明会の際に、地域住民の皆様及び保護者の皆様から、主な内容として、次のようなご意見をいただき、回答いたしました。

出席者からのご意見・ご質問	事務局からの回答
・今日出た意見を踏まえた上で、途中の検討段階での意見交換の機会はあるか。	・学校関係者の要望を確認しながら、学校周囲の住民の皆様、PTA 代表の皆様との意見交換会を予定しています。
・B案が決め打ちにも思えるが、校舎が西向きで環境としてよくないのでは。一番大事な視点である教育環境を考えて検討しているか。	・学校運営を考慮したうえで、工期短縮、事業費削減などを比較し整理しました。西向きはベストではないと思いますが、教育環境として一定の水準は確保できると考えています。
・正門や職員駐車場は変更するのか。	・具体的な位置を検討しています。校舎やグラウンドの配置が変われば、正門や駐車場の位置は変わります。
・グラウンドの防砂対策についての具体的な対策は。競技場のような舗装にはできないか。	・防球ネットに防砂ネットを設置し、適切な高さとなるよう検討します。グラウンドには飛散しにくい素材を採用し、スプリンクラーを整備します。グラウンドの舗装については、様々な競技に活用する必要があるため、ダスト（砂）で考えています。
・学校周りの道路の安全対策は。	・周辺への影響を考慮してフェンスや歩道、植栽の位置など外構の検討を進めていきます。
・周囲の道が狭い。工事車両のルートは決まっているか。地区に精通した業者に請け負ってもらいたい。	・鵜沼橋側のルートがメインになると想定していますが、施工業者の見解もあり、具体的には工事説明会でご説明いたします。業者の選定は入札制度の中で検討いたします。
・工事期間中の部活動への配慮はあるのか。	・代替施設について、学校の意向を確認しながら、確保できるよう関係課と調整いたします。
・バスケットコートは早朝や夜中に入り込まれるのではないか。	・日中の学校授業及び部活動での使用を想定しています。夜間の侵入には、警察を含めた対応が必要と考えています。
・B案は、一つの建物なのか。中庭は設けないのか。採光は確保できているか。	・中央部分に2か所程度中庭を設けて、採光が得られるよう計画しています。
・CO2削減を考え、コンクリートではなく木造にして、みんなに愛されるような建物にしてほしい。	・建物の構造体の比較検討を行い、今回、木造化は考えていませんが、内装などの木質化は検討しています。

配置の比較検討を行い、事業費や工期、学校運営の視点から、**B案をベース**として、今回いただきましたご意見も踏まえ、引き続き学校関係者の皆様、地域住民の皆様からご意見をいただきながら、詳細について検討してまいります。

今後とも、鵜沼中学校改築事業へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

藤沢市教育委員会 教育部
学校施設課

TEL：0466(50)3557

藤沢市役所 計画建築部
公共建築課

TEL：0466(50)3540